

国連平和構築の進展と課題

長谷川祐弘

桜美林大学

2023日6月9日 8:50-10:30

国連平和構築の進展と主要課題

1. 激動する国際社会での平和構築のための国連の役割
2. 国連平和構築活動の誕生と課題
3. 「人間の安全保障」と「保護する責任」の論争と課題
4. 自由民主主義の実現を目指した国連平和構築活動
5. 国連平和活動政策の進展と限界: ブラヒミ
6. 国連の平和活動の政策転換と再構築 コフィアナン
7. アントニオ・グテーレス事務総長の国連改革の試みと課題
8. 新たな平和構築政策の模索と課題
9. 国際平和と安全を維持する国連安全保障理事会の課題
10. 現実的そして抜本的な安保理改革
11. 安保理改革のために発揮すべき日本の歴史的な役割と心構え

1. 激動する国際社会での平和構築のための国連の役割

国連平和構築

紛争のない
世界を築くために
何が必要か



Sukehiro HASEGAWA

長谷川祐弘

ブトロス＝ガーリの「平和への課題」から、
コフィ・アナンの「より大きな自由を求めて」、
潘基文の「HIPPOパネル」設立、
そしてグテーレスの「紛争予防」の行方――。

変貌する紛争、
問われる指導者の志と役割

この100年、
社会は劇変を遂げた。
100年
日本評論社

長谷川祐弘 [著]

国連平和構築の
新たな課題

―国連安全保障理事会はどう改革されるべきか―



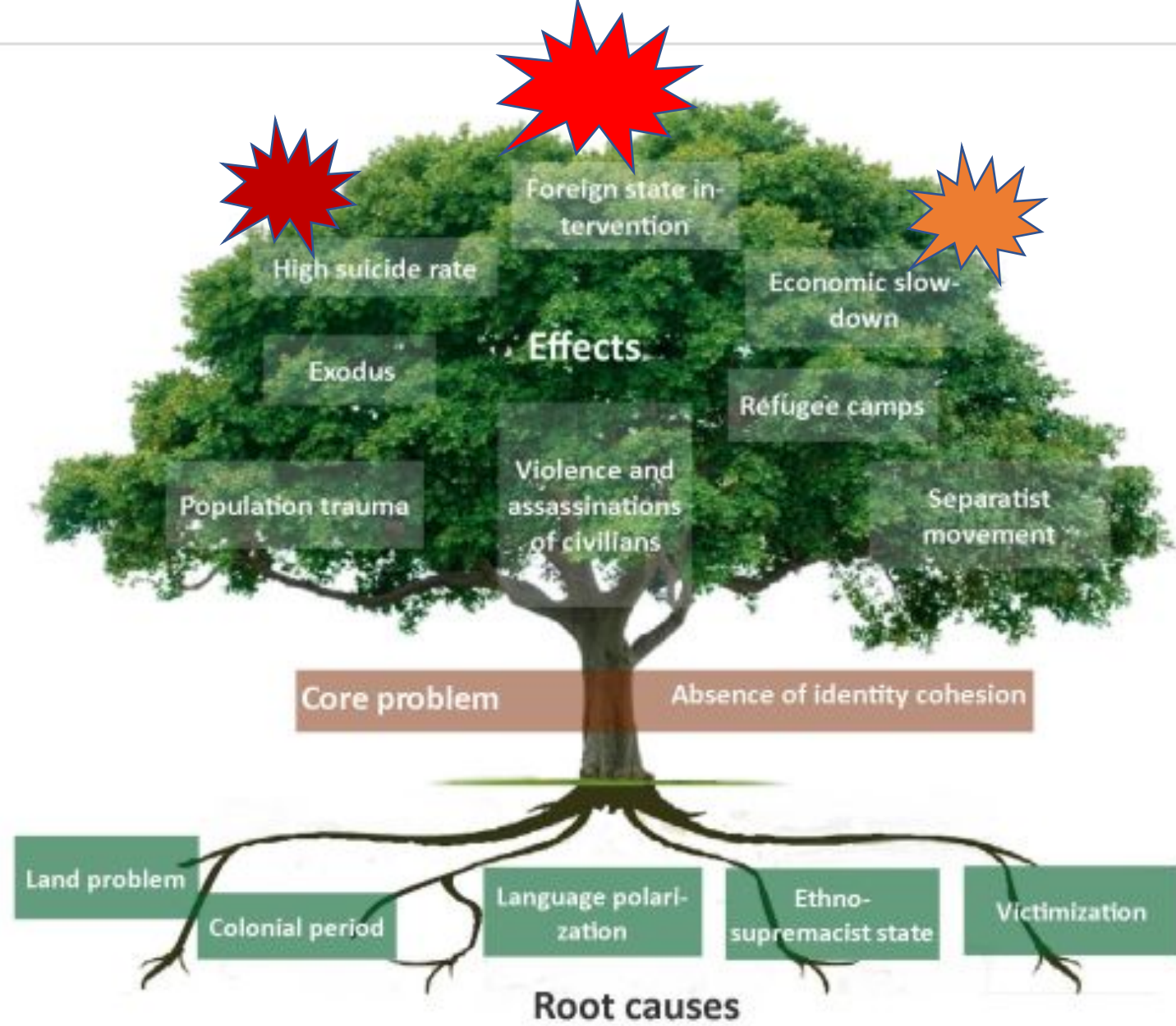
創成社



2. 国連平和構築活動の 誕生と課題

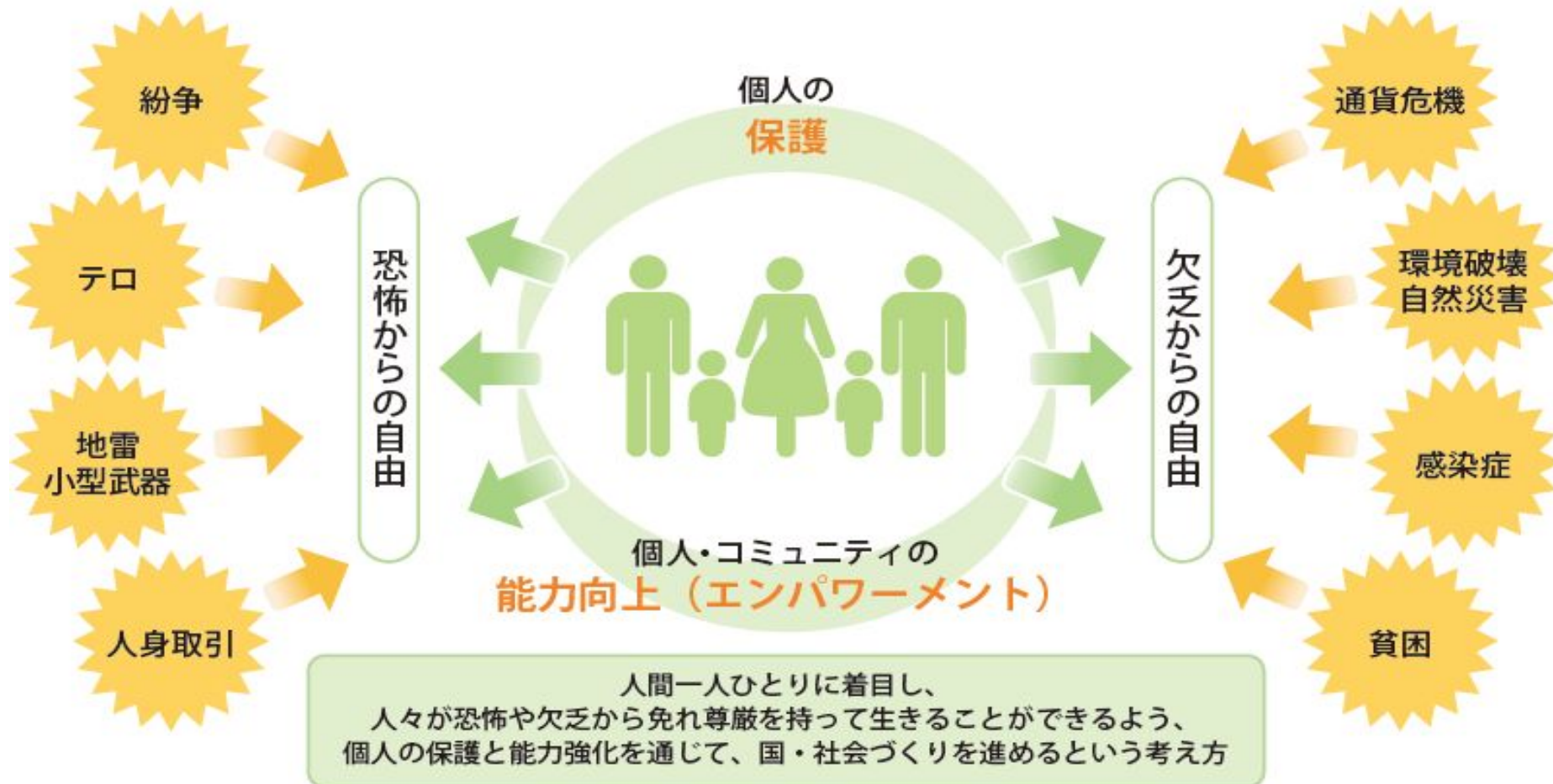
ブトロス・ブトロス＝ガリの
『平和への課題』

その意義と課題



3. 「人間の安全保障」vs「保護する責任」

「人間の安全保障」の考え方



4. 自由民主主義の実現を目指した平和構築活動

(1) 移行期正義の樹立へ向けて

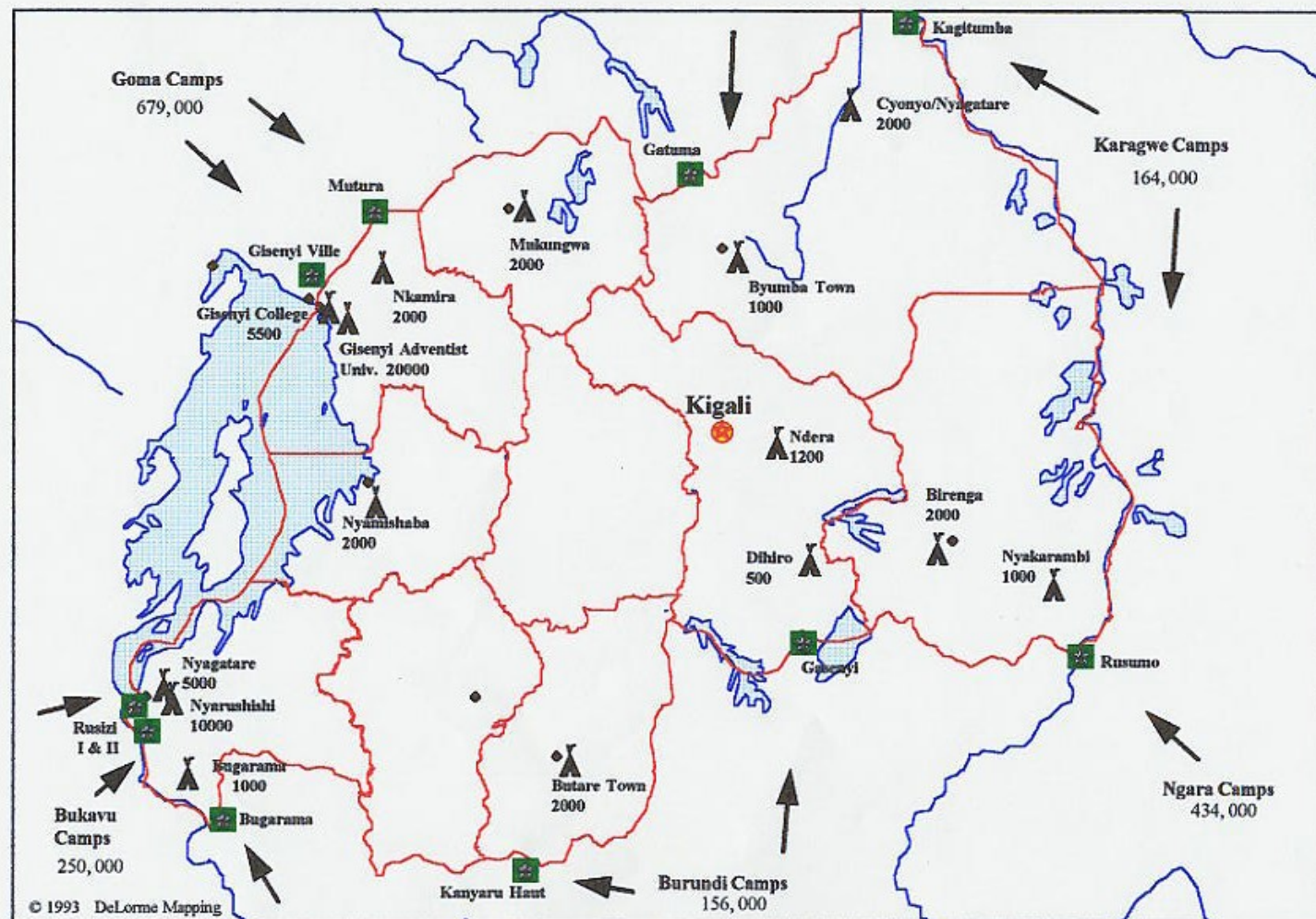
- * 処罰を目的とした「報復的正義」
(Retributive Justice)
- * 和解を目的とした「修復的正義」
(Restorative Justice)
- * 国連指導下で行われた移行期正義の成果：
ルワンダと東ティモール

移行期正義プロセス



Border Points, Transit Centre Capacities & Refugee Camp Populations

27Sept95



Gisenyi town sites subject to approval.

Camp Populations Based on UNHCR/ECHO statistics. = Border Crossing

Production HACU Database



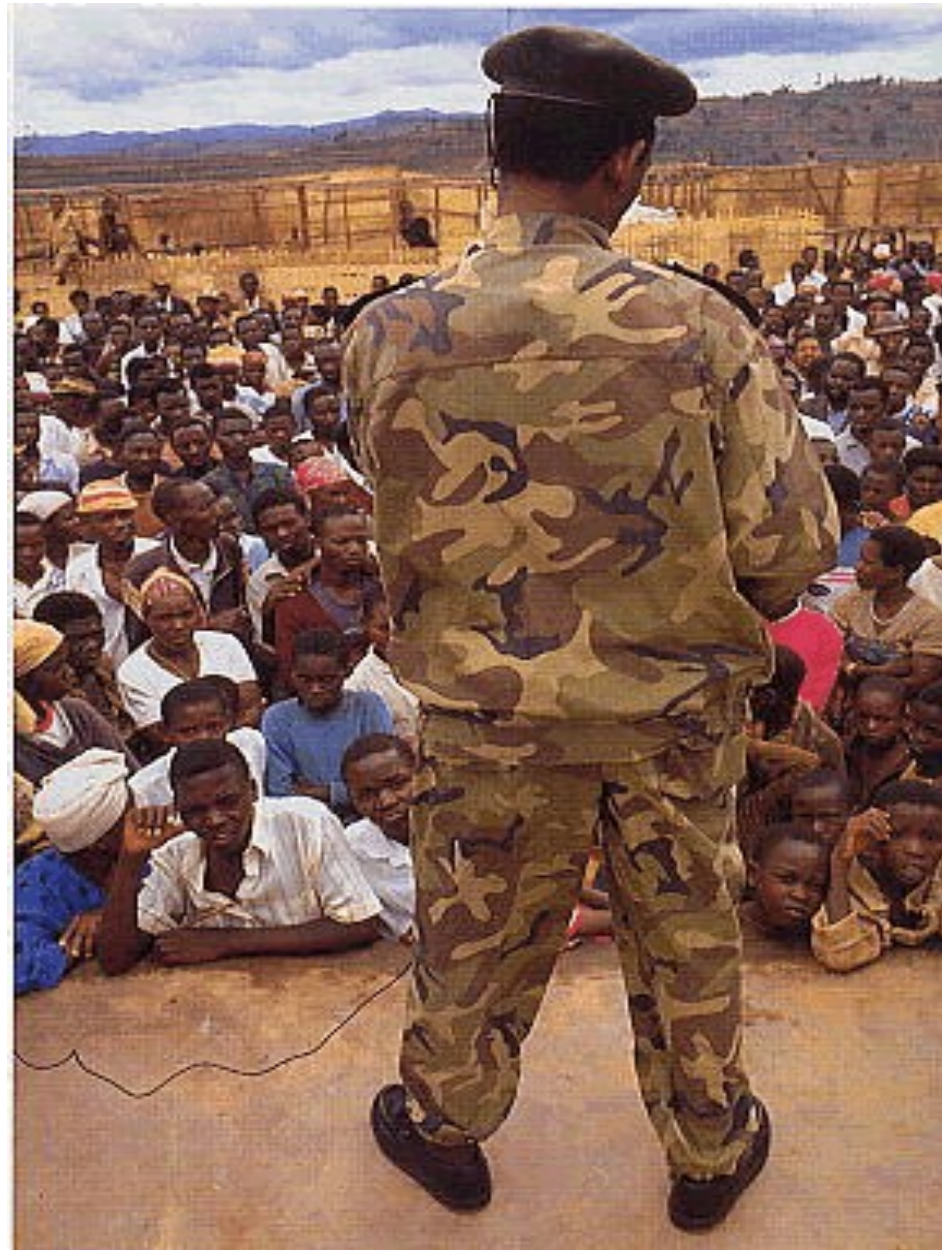
200,000 IDPs assemble at Kibeho camps



RPF soldiers watch

“Interhamwe”

(Oct. 1994)





UN agency staff briefing at Kibeho displaced camp (Feb. 1995)

**To stay or to leave
the camp**

“Non refoulement”

(Feb. 1995)



UN troops
keep their
heads down
as shooting
breaks out
around the
camp late in
the afternoon
of Saturday 22
April.



Brigadier General Henry Anyidoho



The Kibeho camp after the massacre

(22 April 1995)





DPs exhumed by the RPA on the orders of President Bizimungu

Cuthbert-Brown

Photos: John Cleland & Mark

“Bizimungu, surrounded by UN officials (including RR Hasegawa and Randolph Kent - Head of the UN's Rwanda Emergency Operation) and RPA soldiers, is interviewed by local radio.”



© Mark Cutibers-Brown

NON-REFOULEMENT



The basic principle of refugee law, non-refoulement refers to the obligation of States not to return, a refugee to “the frontiers of territories where his life or freedom would be threatened on account of his race, religion, nationality, membership of a particular social group or political opinion.” Additionally, both regional and domestic courts have interpreted the rights to life and freedom from torture to include a prohibition against refoulement. The principle of non-refoulement prohibits not only the removal of individuals but also the mass expulsion of refugees.

Sun
Tzu's
THE
ART
OF
WAR

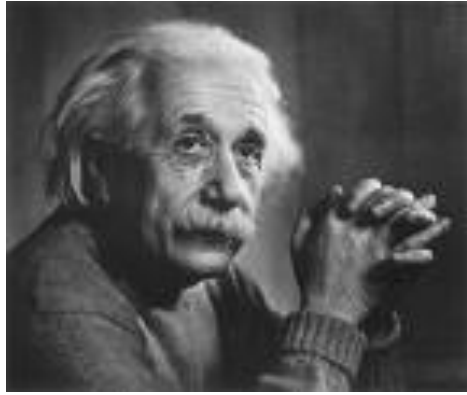
孫子兵法



敵を知り己れを知らば、百戦して危うからず
孫子

**“If you know the enemy and know yourself, you
need not fear the results of a hundred battles.”**

Sun Tzu



Albert Einstein

“Problems we face today cannot be solved at the level of thinking we were at when we created them.”

“Pen is mightier than sword, but imagination is more powerful than knowledge.”

治安部門改革 Security Sector Reform in Rwanda

Rwanda National Police established by UNDP in 1995





“Rwandan National Community Police”

1995

刑務所建設 Prison construction in Sinda



(2) 人権と法の支配

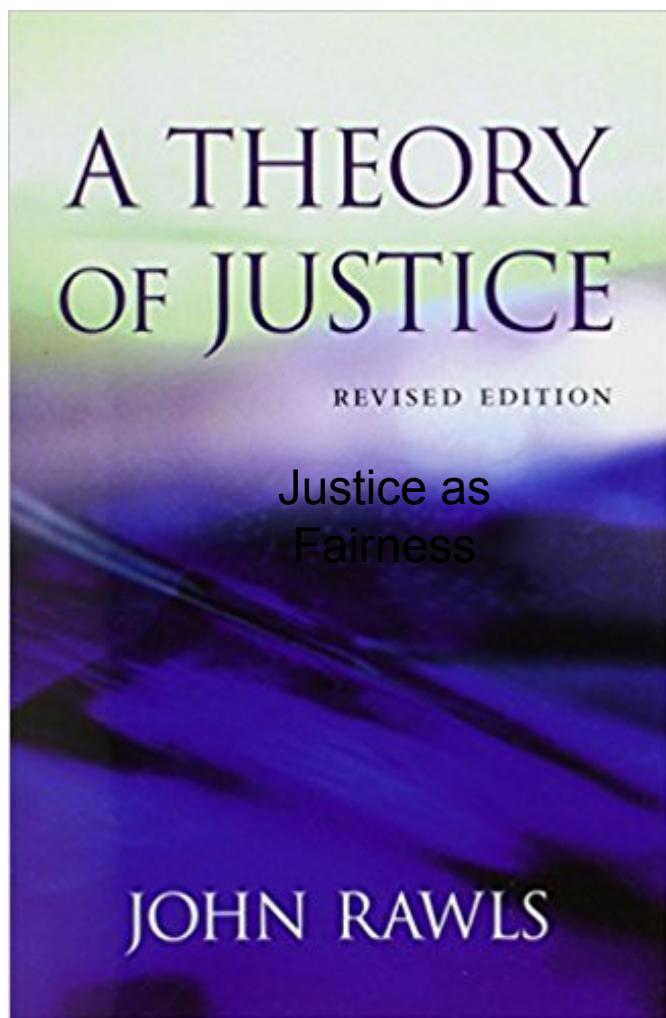
(3) 平和構築における民主主義化の動向

(4) 民主化における選挙の役割と機能

(5) 国家選挙を行う為の国連の支援策

(6) 選挙支援の形式と骨子

(7) 選挙の究極的な役割とは何か



ロールズ「正義の二原理」

- 第一原理:各人は、すべての人にとって同様の自由体系と両立しうる最大限の**基本的諸自由への平等な権利**を持つべきである・
- 第二原理:**社会的・経済的不平等**は、次の二つの条件を充たすように配置されなければならない。
 - (a)**公正な機会の均等**という条件の下で、全ての人に開かれた職務や地位に伴うかたちで、そして、
 - (b)**最も恵まれない人々の最大限の利益**となるように。

5. 国連平和維持・構築政策の進展と限界

第1節 ブラヒミ・ドクトリン: その意義と限界

第2節 脅威・挑戦・変革に関する専門家の勧告と コフィ・アナン国連事務総長の提案

第3節 2005年特別国連総会会議の成果文書

第4節 平和維持から平和構築への移行

第5節 国連事務局の指針案

1. キャプストーン・ドクトリン (統合)
2. ニュー・ホライズン (協調)

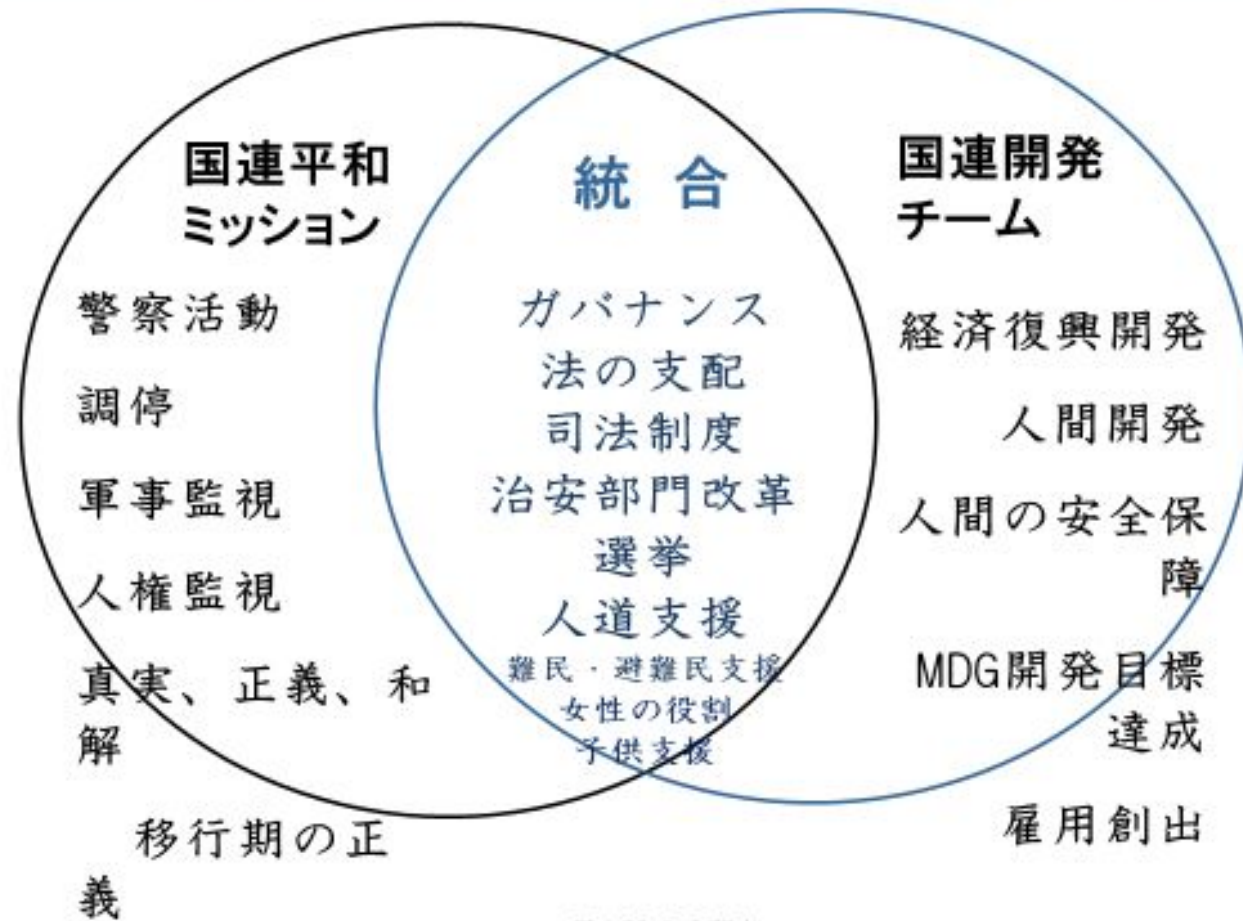
Lakdhar Brahimi: Efficiency and Effectiveness

DPJ party chief, Yukio Hatoyama and his party members meet Brahimi in 2000

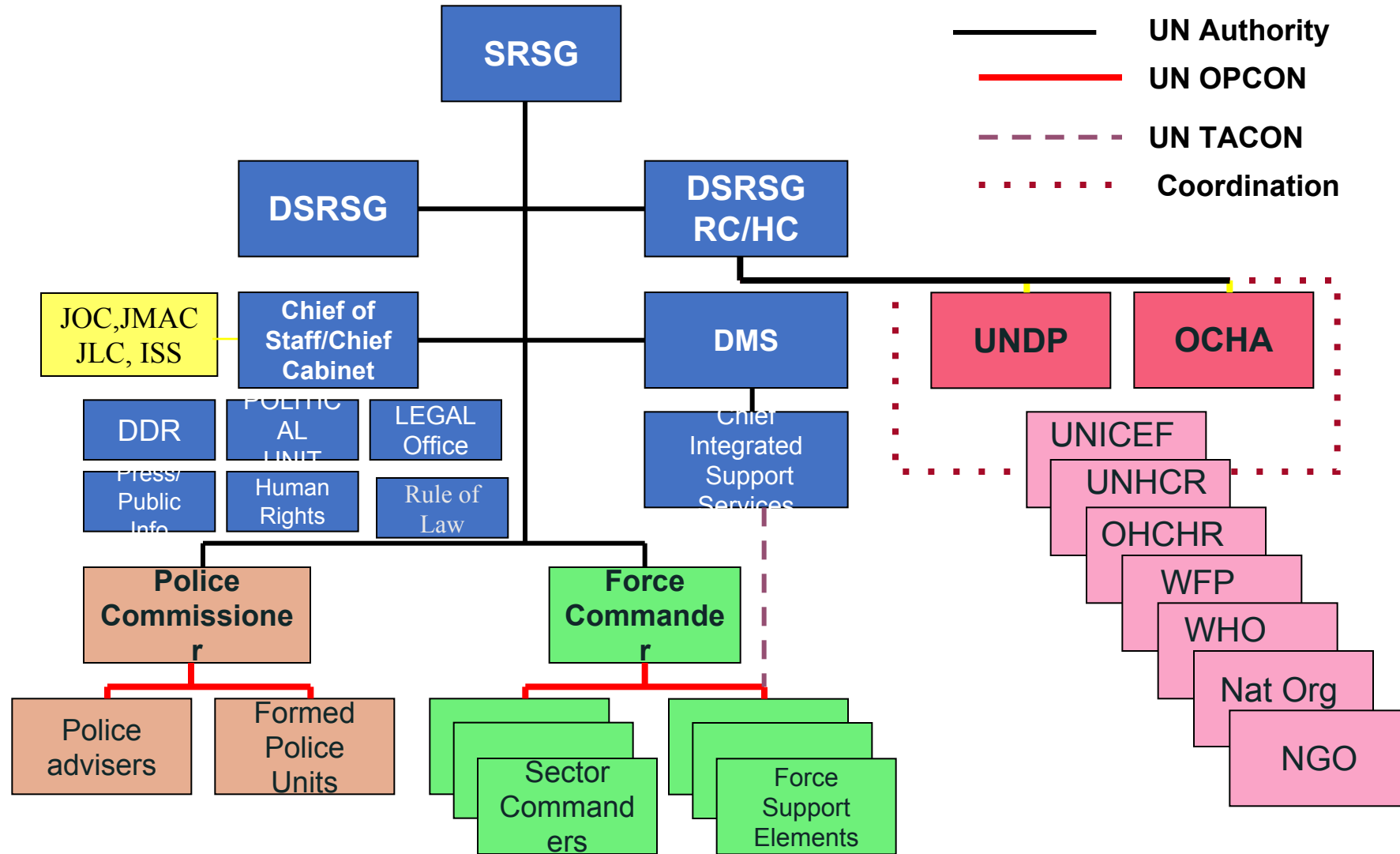


Integration 統合

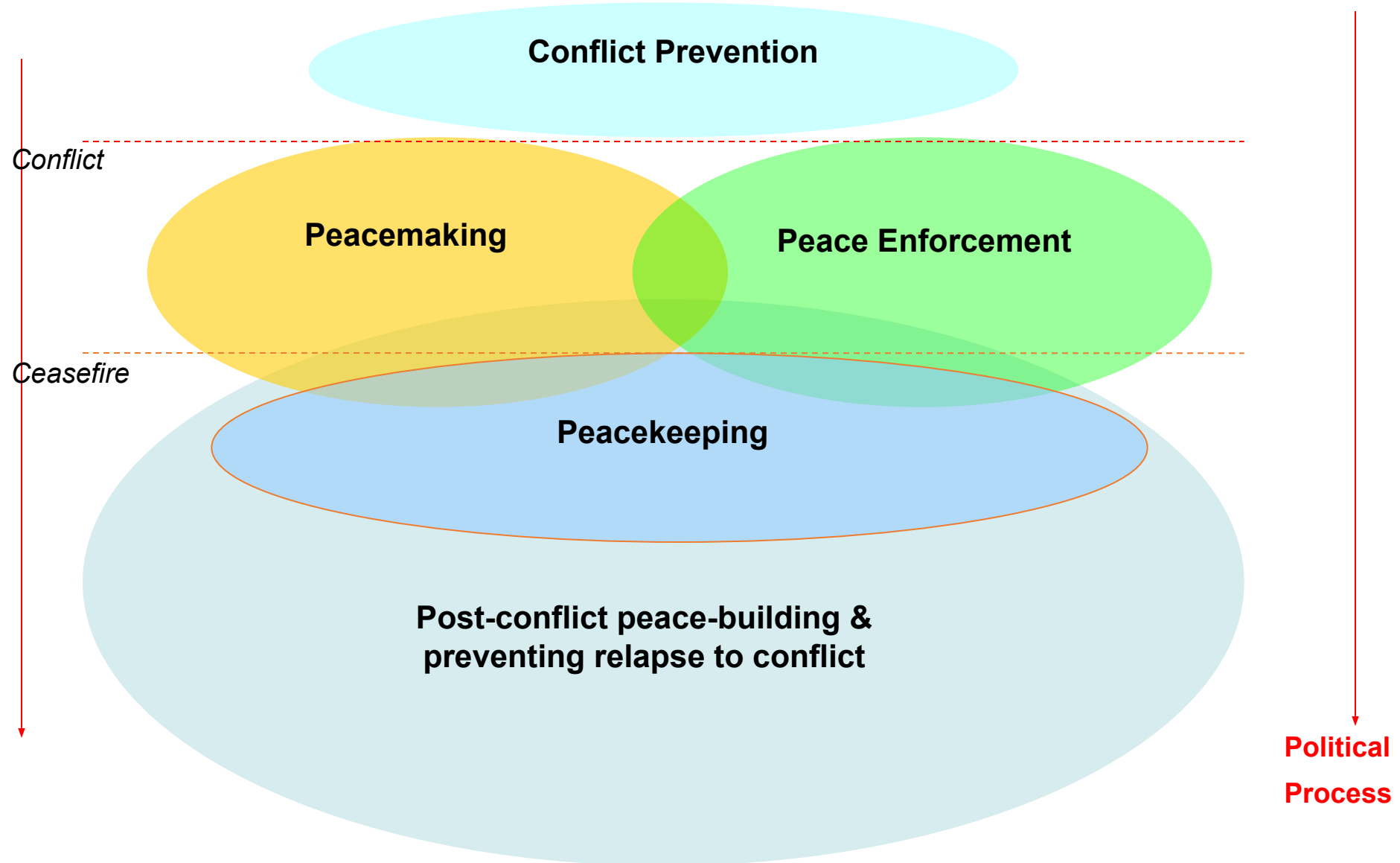
Y 統合ミッションの役割分野



Integrated Mission Structure 2010



Paradigm Shift => Not Linear



平和構築委員会 Peacebuilding Commission

Composed of 31 Member States

7 Members selected by
the Security Council

7 Members elected by
the General Assembly

7 Members elected by the
Economic and Social Council

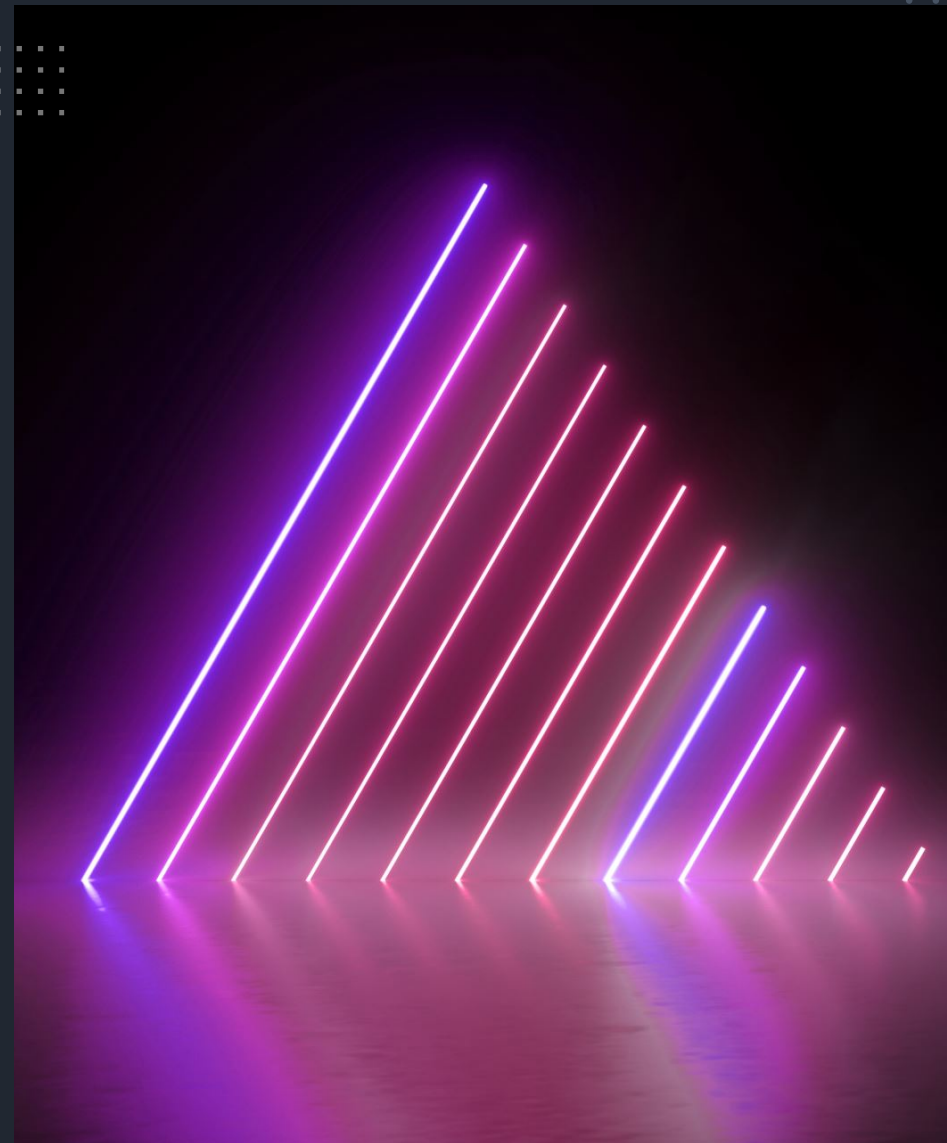
5 top providers of
assessed contributions to
UN budgets, voluntary
contributions

5 top providers of
military personnel and
civilian police to
United Nations missions

PBC Chairman Japan

6. 国連平和維持・構築 活動の政策転換

- HIPPOパネルの政治優先策
 - 本質的な変革に必要な処方箋:
 - Primacy of Politics 政治の優越性
- 国連平和構築アーキテクチャー報告書
- 平和のための女性の効果的な役割を求めて
- SDG16「平和と公正をすべての人に」の意義と課題



第8章 グテーレス国連事務総長の国連システム 改組の試みと課題

第1節 持続可能な開発のための国連開発システム改革

第2節 平和と安全保障活動の統合に向けた国連システムの改造

1. 政治平和構築局(DPPA)の創設
2. 平和活動局(DPO)の創設
3. 「全柱」アプローチ単一の地域別政治・実践活動
4. 現地ミッションの平和と開発・人道支援活動の統合
5. 世界銀行との平和構築へ向けての協力関係の強化

第3節 グテーレス事務総長の国連システム改革案の意義と課題

新たな平和構築政策の 模索と課題

- 第1節 成果主義と現地主義に基づいた業務執行の確立
- 第2節 「平和のための行動」(Action for Peace-A4P)
- 第3節 「我々の共通な課題」(Our Common Agenda)
- 第4節 「平和のための新たな課題」(New Agenda for Peace)
- 第5節 「平和を築き持続させる」(Build and Sustain Peace)

第10章 国際平和と安全を維持する為の国連 安全保障理事会の課題

第1節 国連安保理の起源と課題

1. 安保理の起源
2. 安保理構成員の拡大の必要性
3. 理事国の地政学的な配分の問題点
4. 在任期間の分割方法と論争
5. 多事多難な立候補準備
6. ACTグループと非常任理事国の問題意識

長谷川祐弘 [著]

国連平和構築の 新たな課題

—国連安全保障理事会はどう改革されるべきか—



創成社

第2節 総会へ提出された安保理改革案

1. コフィ・アナン事務総長の安全保障理事会の改革案
2. G4 グループ 日本、ドイツ、インド、ブラジル
3. コンセンサス連合
4. アフリカ連合諸国の改革案
5. カリコム
6. L69

第11章

現実的そして抜本的な安保理改革

第1節 現実的な安保理改革

1. 安保理改革の目的の共通認識の確立
2. 新たな安保理の構成

第2節 国連創設100周年に向けた抜本的な改革案

1. 安保理理事国の議席の構成と任期
2. サンフランシスコ・プロミスと第109条による全体会議の招集
 - (a) 第109条による全体会議(General Conference)の招集
 - (b)「敵国条項」の削除
3. 新たな取り組み：地域機構の活用

歴史的な役割

第1節戦後の日本が歩んできた国際貢献の道

1. 国連への日本の財政的な貢献
2. 日本外交で築いて信頼関係のなお一層の活用
3. 安保理改革で日本が果たしてきた役割

第2節日本が果たせる歴史的な役割と望まれる心構え

1. 国家の安全保障から人間の安全保障へのパラダイムシフト
2. 明治維新からの教訓を生かせ
3. 「名誉ある国」として安保理改革に従事せよ
4. 安保理改革を主導するに為に望まれる心構え

平和構築の志

東ティモールでの平和構築活動から
学んだ教訓

長谷川祐弘 [著]

Peacebuilding and National Ownership in Timor-Leste



平和構築の志は和の精神である

Pax